

令和7年度学校経営計画

学 校 名 東広島市立福富小・中学校

学校長名 小 島 美 樹

I 学校の状況

学級数	12	児童・生徒数	81・39	教職員数	29
メールアドレス	fukutomi-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/fukutomi_sho_chu/index.html				

II 教育目標

夢と志をもち 今を大切に生きる児童・生徒の育成
校訓：思考・実践・感謝

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

ミッション（本校の使命）

1年後、どんな自分になりたいのか（夢）を描き、そのためにはどうしたいのか（志）という目標をもち、そこに近づくために（今）何をすればよいのかを考えて行動を積み重ねることができる児童・生徒を育成する。

ビジョン（目指す学校像）

- ① 児童と生徒がよりよいかかわりをもつ中で、安心して通うことができる学校
(児童・生徒が「喜んで登校」「満足して下校」できる学校)
- ② 夢の実現のために、目標に向かって努力する児童・生徒を最大限にサポートする学校
(児童・生徒の夢「どうになりたい？」と、目標「そのためにどうしたい？」、そして、今「何を積み重ねている？」を具現化し支援する学校)
- ③ 社会に開かれた教育活動を展開し、地域・保護者から期待され応援してもらえる学校
(地域・保護者との協働による福富の「もの」「こと」「人」に触れる教育活動の展開により、主体的に社会に参画する人材を育成する学校)

目指す児童・生徒像

- ① 自ら考え進んで行動する。
- ② 自分と他者を大切にする。
- ③ 全力で最後までやり抜く。

目指す教職員像

- ① 児童・生徒に求めることは、率先して行う。
- ② 深い愛情をもち、一人一人にかかわりきる。
- ③ 根気強く、徹底するまでやり切る。

小・中で共通して身につけさせたい資質・能力

- ① 「主体性」
- ② 「協働性」
- ③ 「自己の生き方を考える力」

小・中で共通して身につけさせたい行動規範

- ① 挨拶励行
- ② 時間厳守
- ③ 無言清掃

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標
安心できる生活	1	夢と志をもち、自己の課題解決や成長に向け主体的に取り組む児童・生徒の育成	自己のなりたい具体像(夢)と、そこに近づくための目標(志)を明確にもたせる。	・「なりたい具体像」(夢)を考え、今の自分の課題を明確にすることで、夢の実現に向けた「目標」(志)をもたせる取組を行う。	「目標を決めて生活することができている。(小 ^低)」 「自分の夢や課題から目標を決めて生活することができている。(小 ^高 、中)」 【児童・生徒評価 90%】 「児童・生徒に目標を設定させ、継続して振り返りをさせている。」 【教師の評価 90%】
			自身の課題から設定した学習や生活に関する目標の達成に向け、粘り強く取り組もうとする態度を育てる。	・保護者と連携し、基本的な生活習慣の定着やコミュニケーション力向上に向けた取組を行う。 ・児童・生徒理解をすすめる、 SSRの活用も含め 生活しやすい環境づくりや、個々に応じた手立てを行う。	「自分で決めた目標を達成しようとしている。」 【児童・生徒評価 90%】 【保護者評価 90%】 ・「児童・生徒理解をすすめる、 組織的に 生活しやすい環境づくりを行っている。」 【教師の評価 90%】
主体的・協動的な学び	2	主体的・協動的に学び、自己の生き方を考える児童・生徒の育成	探究的な学びを活かし、主体的・共同的な学びを推進する。	・地域を題材とし自己の生き方を考えさせることができる、持続可能で効果的なカリキュラムのデザインを行う。 ・わかりやすく主体的・協動的な学びを引き出すとともに、 学力の向上を図る 授業づくりに向けて改善を行う。	「総合的な学習の時間を通して学んだことは、地域や自分の将来に役に立つと思う。」 【児童 ^高 ・生徒評価 95%】 「授業はよくわかる。」 【児童・生徒評価 80%】 「 授業改善により個々の学力の向上が図られている。 」 【教師の評価 80%】
保護者・地域からの信頼	3	学校の教育目標や経営理念、目指す児童・生徒像を教職員・児童・生徒・家庭・地域で共有し、協働して教育を推進する。	学校運営協議会委員と連携し、地域とともにある学校づくりを推進する。	・C.S 委員と連携し、学校の魅力アップ、教育の充実を図る事業を推進する。 ・C.S 便り、学校便り、学年通信に加え、 HP等による情報発信を充実する。	・「学校とC.Sが協働することで事業の充実が図られている。」 【C.S 委員評価 95%】 【保護者評価 85%】 ・「学校運営協議会の活動がよくわかる。」 【保護者評価 80%】
			充実感を実感することができる働き方改革を推進する。	・小・中一貫校ならではの取組や業務の効率化を図る取組の提案を促し、実現する組織体制を構築する。	・「仕事に充実感をもつことができている。」 【教職員評価 90%】

※ 評価指標については発達段階に応じて詳細を設定

V 学校評価

(1) 学校評価に係る組織

① 自己評価

学校評価委員会(校長, 教頭, 教務主任, 保健主事, 研究主任, 生徒指導主事)が中心となって, PDCA サイクルによる教育活動の検証と改善を行う。

② 学校運営協議会

教育課程・学校経営・組織編制の承認, 学校教育活動の改善に向けた意見をいただく。学校が行った自己評価への意見や提言をいただく。

③ 学校運営協議会の構成

地域の住民, 児童・生徒の保護者, 関係行政機関の職員, 教育委員会が必要と認めるもの

(間所克成 清水則雄 竹井文昭 丸岡功宗 松永治寿 世戸もと子 谷川大輔 西丸裕二 R6.4.16 現在)

(2) 自己評価及び学校関係者評価等の実施計画

月	自己評価(学校評価委員会)	児童生徒・保護者 対象の活動	学校運営協議会	公表方法
4	◇学校経営基本方針, 学校経営計画, 学校評価計画作成 ◇第1回委員会 ・自己評価表作成(評価項目及び重点項目設定)	◇基本方針, 自己評価の説明	◇委員委嘱	学校便り HP
5			◇第1回協議会 ・令和7年度基本方針及び重点活動説明, 承認	学校便り C.S 便り HP
6	◇第2回委員会 ・進捗状況確認			学校便り C.S 便り
7	学校評価アンケート実施			学校便り C.S 便り HP
8	◇第3回委員会 ・自己評価中間評価実施 ・改善策検討及び評価指標再設定	学校公開等の実施 ・授業参観 ・学校行事	学校訪問等の実施 ・日常の参観 ・学校行事 ・日常的な連携・意見交流	学校便り HP
9	◇第4回委員会 ・自己評価中間報告書作成			学校便り C.S 便り HP
10				学校便り C.S 便り HP
11		◇中間評価公表	◇第2回協議会 ・教育活動の進捗状況説明(授業参観), 意見収集	学校便り C.S 便り HP
12	学校評価アンケート実施			学校便り C.S 便り HP
1	◇第5回委員会 ・自己評価最終評価実施 ・改善策検討	学校公開等の実施 ・授業参観 ・学校行事	学校訪問等の実施 ・日常の参観 ・学校行事 ・日常的な連携・意見交流	学校便り C.S 便り HP
2	◇第6回委員会 ・自己評価最終報告書作成 ・学校関係者評価の結果を踏まえた改善策検討			学校便り C.S 便り HP
3		◇最終評価公表	◇第3回協議会 ・令和7年度教育活動の成果及び課題説明 ・令和8年度基本方針説明	学校便り HP

継続的な情報収集・資料収集・整理